

1 国語に関する調査

【特長】

- 目的や意図に応じて、情報と情報との関係付けの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を工夫し、自分の伝えたいことを明確にできることを理解できた。
- オンラインで交流する場面において、整理したメモを生かしながら、聞き手の求めに応じた即興的な話し方をする工夫や、話し言葉と書き言葉との違いを踏まえた表現の工夫に気付くことができた。

【課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題が見られた。新出漢字の練習方法を工夫したり、既習の漢字を他教科やその他学校生活の中で繰り返し使用する機会を意識して設けたりする等し、漢字を身近なものとして習得させていきたい。
- 文章の中で、主語と述語との関係を捉えることに課題がみられた。文の内容を理解したり表現したりする際、語句の役割や相互関係に留意させることで文の構成を理解させていきたい。

2 算数に関する調査

【特長】

- 数量の関係を、問題の文脈に沿って図などに表すことを通して数量の関係を捉え、未知の数量を表す記号として□を用いた式に表すことができた。
- 図形を構成する要素である、面と面、辺と辺等の位置関係に着目しながら、立体図形を見取り図で表すことができた。

【課題】

- 球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、図形を構成する要素に着目し、立方体の体積の求め方を考え、式に表すことに課題が見られた。課題の解決に向けては、ICT 機器等を活用し、より立体的にとらえながら求め方を考えられるようにしていく。
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間をもとに判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題が見られた。日常生活の中で出合う様々な問題を、算数で学んだ知識を生かして解決できることに気付かせ、活用する態度を育てていきたい。

3 児童質問紙の結果より

【特長】

- 自分にはよいところがあり、先生はそのよいところを認めてくれていると感じている児童が多い。自己有用感が、物事に挑戦したり将来の夢や目標をもったりすることにつながっている。
- 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができたと感じている児童が多い。道徳の授業等で毎時間意見を交流し、まとめる活動を繰り返して行った成果が表れてきている。

【課題】

- 放課後や休日に、家庭で学習に取り組む時間がかかなり少なく、テレビゲームや携帯式のゲーム、スマートフォンを使ったゲームを長時間して過ごしている児童が多い。自主的、計画的な家庭学習に取り組めるように指導していきたい。
- 学習した内容について、分かった点やよくわからなかった点を見直し、今後の学習や実生活に結び付けて考えたり、今後の学習で活用しようとしたりする児童が少ない。授業の終わりの時間や単元の終わりにおいて、学習したことの振り返りを丁寧に進めるようにしていく。

授業・学校生活の充実に向けた取組

- 「分かる・できる楽しさ」を実感できるような授業を工夫していく。また、既習内容を他の学習や日常生活の中で活用する等、繰り返し基礎基本の定着を図っていきたい。
- 総合的な学習の時間をはじめ、各教科等や生活の中で学習した内容を生かし、自分で課題を立てて情報を整理して発信したり、話し合いを生かして考えをまとめたりする力を育てていきたい。
- 学級生活をよりよくするために話し合い、互いの意見のよさを生かして解決する経験をもつことで、それを生かして自分が努力すべき目標を決めて取り組もうとする力を育てていきたい。
- 児童が安心して楽しい学校生活を送るために、悩みを抱えたり不安を感じたりした際に先生や学校にいる大人に気軽に相談できるような雰囲気づくりを心がけていきたい。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- 家庭での会話や関わりを引き続き大切にしてください、学習や学校生活での悩みや不安を一人で抱えてしまわないように見守り、励ましながら、共にお子さんを育てていきましょう。
- 計画的に家庭学習に取り組んだり、時間を決めて目的を確認してタブレット端末を使用したりする等、家庭での過ごし方の確認やルール作りをお願いいたします。
- 地域や社会の行事や出来事に目を向けられるような声かけをしたり、一緒に地域行事に参加したりすることで、地域や社会の一員としての自覚や参画への意欲を育てていきましょう。